

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	西海 幹樹
主な担当科目	インターンシップ①
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	舞台スタッフ業界の基礎教育を徹底し、現場におけるマナーや安全性を高めるスタッフを育成し、卒業後も継続的に自ら学ぶことができる人材育成を行う。 また卒業後の就職活動支援を行い、継続的に舞台業界の活性化を行い活躍の場をより多く確保する。 多様性のある学生の学習支援ができるよう、授業外学習の支援を行う。
2022年の教育に関する自己評価	舞台スタッフ業界が求める基礎教育、安全教育等を把握するため日本照明家協会や全照協と連携し教育方法などを研究した。 舞台業界の安全教育に職長教育が取り入れられるとのことで、職長教育の研究を継続している。 コロナ禍で就職が難しい卒業生を把握し、各団体と支援を行った。 授業外支援は可能な限り対応したが専任教員の勤務に限界があり、満足な対応ができなかった。
2022年のFD活動に関する自己評価	積極的に参加し大学の運営状況や各学内組織の問題について取り組むことができた。 多様性のある学生への配慮や教育指導について積極的に取り組むことができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・継続的にICTを活用した教育方法と検討課題</li><li>・多様性のある学生への授業検討</li><li>・セメスター制導入による授業検討</li></ul>

科目名－クラス名

## インターンシップ①

## 曜日時限

水 4時限

## 担当教員

西海 幹樹

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験 授業内小テスト	合計	
				定期試験	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
実技・実習	3～	通年	2		0	70	0	30	0	100

## 教育到達目標と概要

この授業では、学外の組織を中心とした実舞台関連業種の会社・団体、文化施設、芸術文化支援団体、芸術文化関連催事などのプロフェッショナルな芸術運営の現場を体験することにより、舞台芸術の公演現場の実態について学び、理解すると同時に、個々の専門知識を深めることを目的とするインターンである。

## 学修成果

実際の現場を体験することによりスタッフワークが深く理解することができる。

マナーや時間管理（時間厳守）、自己管理（体調管理）など社会人としての基礎の重要性を理解することができる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 インターンシップを円滑に行うための準備講座
- 第3回 インターンシップのためのマナー講座
- 第4回 舞台スタッフとしてのインターンシップ参加の心得
- 第5回 インターンシップ受け入れ先のマッチング調査アンケート及び個別面談による実習先希望調査
- 第6回 インターンシップの受け入れ先の交渉と調査
- 第7回 インターンシップの事前教育
- 第8回 インターンシップの受け入れ先顔合わせ
- 第9回 インターンシップ派遣1日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第10回 インターンシップ派遣2日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第11回 インターンシップ派遣3日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第12回 インターンシップ派遣4日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第13回 インターンシップ派遣5日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第14回 インターンシップ派遣6日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第15回 全体ミーティング
- 第16回 インターンシップ派遣7日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第17回 インターンシップ派遣8日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第18回 インターンシップ派遣9日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第19回 インターンシップ派遣10日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第20回 インターンシップ派遣11日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第21回 インターンシップ派遣12日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第22回 インターンシップ派遣13日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第23回 インターンシップ派遣14日目 ・インターンシップ先での研修・実習ノートの作成
- 第24回 インターンシップ報告会プレゼンテーションガイダンス
- 第25回 インターンシップ内部報告会（1回目）  
※発表以外は発表者のプレゼンテーション等を研究する。
- 第26回 インターンシップ内部報告会（2回目）  
※発表以外は発表者のプレゼンテーション等を研究する。
- 第27回 インターンシップ内部報告会（3回目）  
※発表以外は発表者のプレゼンテーション等を研究する。
- 第28回 インターンシップ内部報告会（4回目）  
※発表以外は発表者のプレゼンテーション等を研究する。
- 第29回 インターンシップ内部報告会（5回目）  
※発表以外は発表者のプレゼンテーション等を研究する。

**履修上の注意**

実際に制作（公演）現場に入るので、大学生として基本的な挨拶や返事などコミュニケーション能力を高め参加すること。  
無断遅刻・早退・欠席は厳禁。  
担当教員・インターンシップ先の担当者には報告・連絡・相談を必ずすること。  
SNSなどへインターンシップ先の内容等書込み禁止。  
上記以外の授業実施日時は別途指示する。  
インターンシップは原則14日間とするが受け入れ先の研修内容により日程期間、現場等変更する場合がある。  
インターンシップ先への交通費は自費とする。

**授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法**

インターンシップ先の選択にあたっては、事前の調査研究が不可欠であるので調べ研究すること。  
コミュニケーション能力を高めること。

**教科書・参考書**

必要に応じて資料配付  
公演実習ノート（インターンシップ用として配付）

## 2022年度(後期)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2068 教員名：西海 幹樹

### 1) 評価結果に対する所見

#### 【舞台スタッフ論②】

- ・興味や関心がある 95.7% (昨年度 89.7%)、満足度 95.7% (昨年度 89.7%) と満足度の高い授業が運営できた。

#### 【舞台芸術実習①②③】

- ・公演の準備作業、そのための基礎知識と専門性が高い授業のため全体的には評価が高い、また各自公演に対する意識によって大きな違いがあり、今後も舞台スタッフとしての基礎知識やマナーを学ぶ科目として満足度を上げたい。

#### 【公演実習Ⅰ、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (舞台監督・照明)】

- ・公演 (劇場入り) の舞台監督/照明セクションの作業であり非常に専門性が高く、満足度が高い。

#### 【卒業制作作品研究】

- ・興味を持っている 31.6%、満足度 31.6%と水準が低い。  
要因として、自ら研究する意識が少ないと感じる。

#### 【舞台情報処理 (XYZ クラス)】

- ・興味や関心がある 85.2%、満足度 85.2%と満足度の高い授業が運営できた。

### 2) 要件への対応・改善方策

#### 【舞台スタッフ論②】

- ・ネガティブな意見が少なく今後も興味や関心、満足度が高い授業を運営できるよう最新の情報を取り入れ運営を行う。

#### 【舞台芸術実習①②③】

- ・スタッフになるという熱意のある人には楽しいと思うが、そうでない人には辛い。  
→そもそもスタッフワークを学ぶコースにミスマッチがあったと思われる。  
入試から再度ミスマッチがないよう指導したい。
- ・卒業公演で 9:00~21:00 まで実習が続くのは精神的肉体的に疲れる。  
→現在の舞台業界が短い期間にて業務が遂行されており、実践的な環境と、教育の環境ともに働き方改革が必要である。

### 【公演実習Ⅰ、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（舞台監督・照明）】

- ・助手の対応について、舞台スタッフの助手は状況によっては制作サイドの立場になることもあり、教員に近い立場になることがあり、今後実習関連は専任教員が責任を持って全体運用をする。

### 【卒業制作作品研究】

- ・実習や就活に集中すると、やる暇がなくなる。  
→集中しないよう通年にて指導しています。計画的に実施すれば十分実施可能です。
- ・卒業公演があるのに卒業制作作品研究があるのはどうしてですか  
→性質が異なり、シラバスや授業内容を理解していない履修者の意見と感じる。  
卒業制作作品研究→個人研究であり、個人の意見を発表する場。  
卒業公演→創造活動であり、公演を創り上げる過程を学ぶ総仕上げ。
- ・オンラインでコミュニケーションが難しい  
→指導教員についてもFD研修等で指導方法を提案する。

### 【舞台情報処理（XYZクラス）】

- ・ネガティブな意見が少なく今後も興味や関心、満足度が高い授業を運営できるよう最新の情報を取り入れ運営を行う。

## 3) 今後の課題

### 【舞台スタッフ論②】

- ・今後も最新の舞台技術を反映して授業運用を行う。

### 【舞台芸術実習①②③】

- ・学生数増加に対して指導教員不足であり運営を再検討したい。

### 【公演実習Ⅰ、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（舞台監督・照明）】

- ・学生数の増加により、実習内の作業量などが分散され1作品の全体の作業・仕事を体験することが難しくなっている。複数クラスや教員・施設の充実が今後の課題である。また、学生の多様性を考え選択制をとる演目も検討する必要がある。

### 【卒業制作作品研究】

- ・大学は自ら研究することを1～3年次にも伝え、自主的に学び、研究し、論文等自らの考えを発表する、研究の場であることを再度認識できるよう指導する。また、その要因として学生が自ら研究できる場所が少ないことも影響していると考え。コースごとに必要な施設、環境を整えるのも重要と考える。

### 【舞台情報処理（XYZクラス）】

- ・今後も最新の舞台図面CAD技術を反映して授業運用を行う。

以上